



原油価格暴落の意味は大きく深い

FRB（米連邦準備理事会）が2008年から始め2014年10月末に終了するまで5年間三次にわたって行った量的金融緩和政策は、低金利維持と2%物価上昇、失業率6%以下を目標としたものであった。市場が求める以上の通貨を増刷すれば貨幣価値が下がり通貨インフレで金利と物価が上がるのが市場原理であるが、FRBは増刷した通貨で国債を購入するという市場介入で国債利回りを下げ、低金利を維持することには成功したが物価上昇目標を達成することは出来なかった。

物価目標達成に失敗したのはモノとサービスの需給が低迷し続けたからである。失業率は目標の6%以下になったが、それは労働市場（Work force）参加者減少（就職を諦めた層の増加）の為に実際には失業者数は減っていない。さらに2008年のFRB緩和以来米国民所得は減少している。更に緩和政策による通貨（ドル）価値の国際的下落を防ぐ為ドル高政策を採り、輸入物価が下落し国内物価下落圧力となり消費者の買い控えにつながった。

実際には失業者は減らず、国民所得は下がり、物価下落による買い控えではモノとサービスの需給バランスが低迷するのは当然である。FRBが量的金融緩和を断念したのは緩和政策と言う名の市場操作の限界とジレンマを知ったからである。

日銀が一昨年（2013年）4月に異次元金融緩和を発表した時私は本誌で、「FRBが緩和を縮小し、やがて止めるのは緩和政策が失敗したから。日銀はそれを知ってか知らずか、FRBの（GDP比）三倍量の緩和政策を打ち出すなどは日本経済の為ではなく、FRB緩和終了ショックを和らげるため以外の何ものでもない」と述べた。

昨年10月末（FRBが緩和政策を終了した時）日銀は年間80兆円にのぼる追加緩和を打ち出したが、結果日本をはじめリセッションに陥っている欧州の資金がアメリカに流入し暴落寸前であったNY株価は史上最高値を更新した。

「原油価格暴落政策」はエネルギーコストの引き下げによる国民の可処分所得増を消費に向け、金融緩和政策で達成出来なかったモノとサービスの需給バランスをポジティブ転換する狙いと、21世紀の世界政治地図を一変させる冷戦戦略である。今日吹込みが終わった「時事直言協賛者にお贈りするCD」で詳しく解説したのでお勉強のほど。

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.63 「激動の世界を読む」

現在増田俊男の小冊子 Vol.63 を**大好評発売中**です。*経済・軍事で巨大化する中国の野心*日米安全保障条約が日本の安全の要でなくなる時*欧州連合（EU）分裂・解体の危機*原油価格急落の仕掛け人とその壮大な目的*逆もまた真の投資法などが主な内容です。**完売になり次第コピー版の送付となります。お急ぎください。**詳しいご案内、お申込みについては増田俊男事務所（Tel：03 3955-6686、HP：www.chokugen.com）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前に株式会社増田俊男事務所（Tel03-3955-6686）までお知らせ下さい。

「時事直言」のサポーターの皆様へのお願い

読者の皆様のご支援で今日はワシントン DC、明日はニューヨーク、来週は欧州と活動を続けています。

少しでも早く、より正確に、誰も言えないことをお伝えすることを使命と心得ています。

「宴の終わり」と言うように、今世界は経済と政治において「試練の時」をむかえようとしています。

FRB/連邦準備理事会（アメリカ）主導の大金融緩和によって起こされたバブルと言う「カネがモノを言う時代」の終焉が目前に迫っています。

世界の警察から逃れるアメリカ、この機を逃さずアジア覇権に大手を掛ける中国、そして平和憲法を捨てて再軍備に走る安倍内閣。

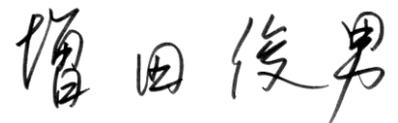
イギリスの EU (欧州連合) 脱退、ドイツの対ユーロ責任回避で崩壊する EU 体制。

欧州の残骸をかき集めて旧ソ連帝国を夢見るプーチン大統領。

遠い宇宙から下界の混乱を眺めてほくそ笑む者がいる！

持ち前の活声で、宇宙的かつ現世的に激動の世界を一刀両断、一気に吹き込む所存。

ご支援下さる皆様に心を込めてお贈りする CD にご期待下さい。



※お名前、ご住所等は明確にご記入ください。

※CD、活動報告の**発送開始は2015年1月末頃**を予定しております。

※複数回お振込みの方は累積させて頂きます。(CDの贈呈は2口以上となります。)

<「時事直言」協力金申込記入欄>

お名前 振込人名義

ご住所 〒.....

会社名

TEL FAX

申込み口数 口 【1口 ¥3,000- (複数口歓迎)】 ※CDの贈呈は2口以上となります。

<協力金振込先> 三菱東京UFJ銀行 池袋西口支店 普通 3964107 カ)マスタシオジムシヨ

※お手続きは申込書の送信、お振込みをもって完了となります。

FAX 送信先:03-3955-6466

(株)増田俊男事務所

info@chokugen.com